

安全上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しくお使いください。

表示と意味

	警告	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
	注意	傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

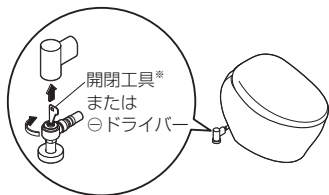
	してはいけない禁止の内容です。
	必ず実行していただく強制の内容です。

警告

故障したままで使いつづけない！

■故障したときは…

電源プラグを抜き、止水栓を閉める



※付属の開閉工具をご使用ください。

●故障とは

配管や製品からの水漏れ、ひび割れ、異音や異臭、発煙、製品が異常に熱い、便座クッションのはずれ、便器の詰まりなど

●故障したまま使いつづけると

火災、感電、発熱、ショート、けがや室内浸水の原因になります。

■設置するときは…

●車輻や船舶などの移動体に設置しない
(火災、感電、ショート、故障や、便座、便ふたなどがはずれて落下することによるけがの原因)

■お使いのときは…

●飲用可能な水以外には使わない
(故障や皮膚の炎症などの原因)

●温風吹出口は、指や物を入れたり衣服でふさいだりしない
(感電、故障やけがの原因)

■お使いのときや お手入れ、点検のときは…

●ウォシュレット部や電源プラグに、水やお湯、洗剤をかけない
(火災や感電、発熱、ショート、製品の割れによるけがや室内浸水の原因)

■お手入れや点検のときは…

●逆流防止装置(バキュームブレーカー、Oリング)は、定期点検する
(水が逆流し、人体に影響をおよぼす原因)
⇒アフターサービス
「定期点検のおすすめ」(P.74,75)

警告

火災、感電、発熱、ショートを防ぐために

■電源コード、電源プラグなどは…

- ぬれた手で抜き差ししない
- 雷が発生しているときは、触れない
- 破損するようなことをしない
- ・引っ張る、ねじる、無理に曲げる、傷をつける、加工する、加熱する、重いものを載せる、束ねる、挟み込む、など
- ガタついているコンセントは使わない
- コンセントや配線器具の定格を超えて使わない
- ・たこ足配線など
- 指定の電源(交流 100V)以外で使わない
- 給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない
(結露などによる、火災や感電の原因)
- 電源プラグの刃などについたほこりは、定期的に取り除く
- ・プラグを抜き、かわいた布でふいてください。
- 根元まで差し込む
- 抜くときは、電源プラグ本体を持つ
- ・コードを引っ張ると、プラグやコードが傷みます。
- コンセントに差し込む際、電源プラグにアース線を挟み込まないようにする
(ショートの原因)

■設置するときは…

- 浴室など、湿気の多い場所に設置しない
- アース(D種接地)工事は、必ずする
(故障・漏電時の感電の原因)
- ・工事は、お近くの工事店に依頼してください。

■お使いのときや、お手入れ、点検のときは…

- たばこなど、火気類を近づけない
- 分解や修理、改造はしない

■お手入れや点検のときは…

- 必ず電源プラグをコンセントから抜く
(感電や誤作動による故障の原因)

安全上のご注意 (つづき)

警告

身体への影響を防ぐために

■お使いのときは…



●便座に長時間座らない

(低温やけどの原因)

- 低温やけどを防ぐために、次のようなかたが使うときは、周囲のかたが、便座の温度を「切」、乾燥の温度を「低」にしてください。
[自分で温度調節できないかた]
お子様、お年寄りなど、病氣のかた、身体の不自由なかた
[眠り込むおそれのあるかた]
かぜ薬など眠気を誘う薬の服用、深酒、疲労の激しいかたなど

■お使いのときは…



- 化学療法を受けているかた、免疫不全症のかたなど、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けているかたは、ご使用に際し医師に相談する
 - 身体への著しい障がいまねくおそれがあります。
- 電池の液が漏れて、身体や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流す(目や皮膚の障がいまねく原因)

注意

水漏れや室内浸水を防ぐために

■水漏れが発生したときは…



●止水栓を閉める



■お使いのときは…

- 給水ホースを曲げない、つぶさない、カッターなどで傷つけない
- 汚物・トイレトペーパー以外のものや、大量のトイレトペーパーを流さない
- 便器が詰まったときは、水を流さない
- 使ったあとは、必ず水を流す(便器が詰まることにより、汚水があふれて室内浸水したり、便器洗浄不良になる原因)

■お使いのときは…



- 便器が詰まったときは、電源プラグを抜き、詰まりをとる(オート便器洗浄がはたらくと、汚水のあふれによる室内浸水の原因)
 - 市販の詰まり除去用の器具(商品名:ラバーカップなど)を使ってください。
- 便器や給水管、および止水栓の結露は、かわいた布でふき取る(結露水が、床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれ)
 - トイレの換気を行うと、結露しにくくなります。

■お手入れのときは…



- 止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルターや給水フィルター付水抜栓を取りはずさない(水が噴き出す原因)

注意

水漏れや室内浸水を防ぐために

■お手入れのときは…



- 給水フィルターや給水フィルター付水抜栓を取りはずした場合は、確実に締める

■外気温が0℃以下になるときは…



- 凍結による破損の予防をする(ウォシュレット部の内部や給水配管が凍結すると、内部の部品が破損し、水漏れの原因)
 - 暖房するなどしてトイレを暖めてください。

けがを防ぐために

■お使いのときは…



- 破損部はさわらない

次のことにもご注意ください

■お使いのときは…



- 強い力や衝撃を与えない、本体の上に乗らない、重いものを載せない(割れることによるけがの原因。製品が破損して、けがや室内浸水の原因)
- 便器の中に熱湯を注がない(便器が破損して、けがや室内浸水の原因)
- 便器のたまり水(封水)を切らさない(下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによる設備・機器の腐食の原因)



- 電池の＋表示をよく確かめて入れる
- 使い切った電池は、早めに取り出す
- 電池を交換するときは、
 - 2本同時に新しい電池と入れ替える
 - 新しい電池2本の銘柄をそろえる[銘柄の指定なし]
(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因)

■お手入れのときは…



- プラスチック部分(ウォシュレット部)や給水ホースは、うすめた台所用中性洗剤を使う
 - トイレ用や住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどは使わない(故障やプラスチックを傷め、割れてけがや、給水ホースが傷むと水漏れの原因)

■長期間使わないときは…



- 止水栓を閉めて水を抜き、安全のため電源プラグを抜く
 - 再使用時は、一度通水してから使ってください。(火災や発熱、腐敗した水による皮膚の炎症の原因)
- リモコンや電池ボックスから電池を取り出しておく(電池の液漏れの原因)

■床や壁の汚損を防ぐために



- 床に落ちた小便などは、よくしぼったぞうきんでふき取る

使用上のお願い

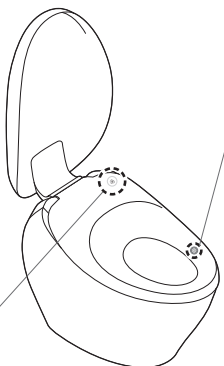
■着座センサー(内蔵)について

便座に座ると着座センサーが検知し、各機能が使えます。(着座センサーが検知すると、脱臭がはじまります。)

●着座センサーの位置を示すラベルを貼っています。小さなお子様などは、座りかたによってセンサーが検知しにくいことがあります。ラベルを目安に便座に座るようにしてください。(ラベルは剥がせません。)

●着座センサー部に、肌が直接触れるように座ってください。便座カバーや洋服などがあると着座センサーが検知しない場合があります。

●着座センサー部に水滴があると、本体が誤作動する可能性があります。水滴がついたときは、必ずふき取ってください。




■流すボタン について

このボタンを押すと便器洗浄ができます。

●流すボタンに、指が直接触れるように押してください。
●流すボタンの上に水滴があると、本体が誤作動する可能性があります。水滴がついたときは、必ずふき取ってください。

■誤作動や故障を防ぐために

- 落雷の可能性があるときは、電源プラグを抜いておく
- 便座・便ふたカバーは取り付けできません。
(着座センサーが正常に検知しない、また便座・便ふたが正常に開閉しない原因) 
- トイレ室内に冷暖房器具を設置するときは、本体に冷暖房の風や熱が直接当たらないようにしてください。
(安全装置が誤作動する原因)
- ウォシュレット部や便座、ノズルに小便をかけない
(故障や変色の原因)
- リモコンの操作面に強い力を加えない
- トイレ用洗剤で便器を掃除するときは、3分以内に洗い流し、便座・便ふたは開けたままにしておく
 - ・便器に残った洗剤はふき取ってください。
(洗剤の気化ガスがウォシュレット部の内部に入ることによる、故障の原因)
- 直射日光を当てない
(変色や暖房便座の温度ムラ、リモコンでの作動不良の原因)
- ラジオなどは、本体から離して使う
(ラジオに雑音が入る原因)
- 幼児用補助便座、やわらか補高便座などは、使用後取りはずす
(取り付けたままだと、一部の機能が使えない原因)
- 便座の上にもものを置かない、手で押さえない
(着座センサーが入り、リモコンのボタンに触れたときノズルから温水が出て、床などをぬらす原因)

■傷つきや破損を防ぐために

●ウォシュレット部、リモコンなどプラスチック部分は、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく



●便ふたに寄りかからない



■正しくお使いいただくためのご注意

- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
(目安: 約10秒～20秒) また、局部内は洗わないでください。
※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 習慣的に便意を促すために使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

■機器認定

- 本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本機以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本機内蔵の無線装置を分解/改造する
 - ・本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルをはがす

■リモコンについて

●この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえで、TOTO(株)お客様相談室(裏表紙参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、TOTO(株)お客様相談室(裏表紙参照)へお問合せください。

《電波を使う機器から離す》

●電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはできるだけ離してください。

- ・電子レンジ
- ・無線LAN機器
- ・Bluetooth対応機器
- ・その他2.4GHzの電波を使用する機器
(デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)